

ワークショップ

持続可能な観光地域評価システム

Sustainable Tourism Assessment & Review system

STARs の活用

日時：2月28日（金）13：00-16：00

場所：西3号館1F コミュニケーションスクエア I

日本での持続可能な観光推進は、2018年観光庁に持続可能な観光推進本部が設置されたことを機に様々な取り組みが展開され、「観光立国推進基本計画」の2023年改訂では、持続可能な観光が3本柱の一つに位置付けられ、推進戦略の一つとして「日本版持続可能な観光ガイドライン(Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations, JSTS-D)」(2020.6発表)の活用が掲げられています。本ワークショップでは、JSTS-Dの実用性を高め、研究におけるデータ活用も目的に開発したオンライン・アプリケーション「持続可能な観光地域評価システム」STARs (Sustainable Tourism Assessment & Review system <https://sustourism.net>) について、その開発の経緯や実践を紹介、日本における「持続可能な観光地域づくり」の現状や課題、STARs活用も含めた持続可能な観光地域推進方法について考えます。*STARs開発は「和歌山大学独創的研究支援プロジェクトA」(2020年度)の助成を受けました。

《講師・プレゼンター》

- 慶應義塾大学理工学部 准教授 川久保俊
- 追手門学院大学 教授 岡田美奈子
- 和歌山大学 観光学部 教授 加藤久美
- 法政大学大学院デザイン工学部 STARs 開発チーム
- 和歌山大学観光学部サステナビリティゼミ

主催：Sustainable Tourism Alliance for Research & Solutions

和歌山大学観光学部サステナビリティゼミ（担当：稲見、高野）

協力：和歌山大学観光学部研究推進委員会

